2013年10月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
論文		
1	著者名	Hajime Kojima, Masakazu Katoh*1, Shinsuke Shinoda*2, Saori Hagiwara*2, Tamie Suzuki*3, Runa Izumi*3, Yoshihiro Yamaguchi*4, Maki Nakamura*4, Toshihiko Kasahawa*5 and Aya Shibai*5
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	*1株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング、＊2株式会社薬物安全性試験センター, *3ファンケル、*4小林製薬株式会社, *5富士フイルム株式会社
	論文題名 （和訳を括弧書きで記載）	A catch-up validation study of an in vitro skin irritation test method using reconstructed human epidermis LabCyte EPI-MODEL24（ヒト再構築表皮モデルLabCyte EPI-MODEL24を用いるin vitro皮膚刺激性試験追加バリデーション研究）
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	Journal of Applied Toxicology, 2013　10月
2	著者名	小島　肇夫
	題名	技術講座　安全性評価試験（24）実験動物を用いる連続皮膚刺激性試験
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	COSME　TECH　JAPAN,　3（10）22-25（2013）
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	in vitro探索毒性試験の展望
	学会名，発表年月及び場所	日本薬物動態学会　第28回年会シンポジウム9、平成25年10月10日、東京
2	発表者名	小島　肇
	演題名	三次元培養モデルの現状と可能性
	学会名，発表年月及び場所	株式会社ニコダームリサーチ　創立10周年記念特別講演会

3	発表者名	小島　肇
	演題名	動物を用いないで医薬部外品の承認申請を取ることは可能か？
	学会名，発表年月及び場所	日皮協　会員研修会、平成25年10月24日、京都